

リーマンショック後の外国直接投資について

岡山県ベトナムビジネスサポートデスク
グエン・ティ・タン・ニャン

【はじめに】

リーマンショック後のベトナム投資トレンドはどうなるのか懸念もありましたが、結論から言うと、ベトナムへの外国直接投資（FDI）には明るい兆しが見られ、引き続きベトナムの経済発展に重要な役割を果たしています。

本稿では、リーマンショック前・中・後に分けて FDI の状況を解説し、今後のトレンドについての概略を報告します。

【リーマンショック前の FDI 状況】

リーマンショック前、ベトナムへの FDI は増加傾向にあり、登録額も実施額も同様に増加しました。具体的には以下のとおりです。

年	登録額		実施額		投資国・地域
	額	前年比	額	前年比	
2007	203 億 米ドル		80.3 億 米ドル		韓国、バーズ諸島、シンガポール、台湾、日本
2008	603 億 米ドル	3 倍増	115 億 米ドル	43.2% 増	マレーシア、台湾、日本、シンガポール、ブルネイ

(出所：ベトナム統計総局の国家経済・社会状況の定期レポート)

上記データによると、2008 年の FDI は史上最高の成長率を達成しました。投資額が多い国・地域はマレーシア（149 億米ドル、総投資額の 24.7%に相当）、台湾（86 億米ドル、総投資額の 14.3%に相当）、日本（73 億米ドル、総投資額の 12.1%に相当）などです。主な投資分野は加工産業、製造業、ビジネスコンサルティング業、鉱物資源採掘業などです。

【リーマンショック中の FDI 状況】

リーマンショックの影響を受け、巨額のFDIを受け入れている他国（中国、タイ、マレーシア、インドなど）と同様、ベトナムへのFDIは急激に減少しました。具体的には、2009年のFDI登録額は2008年比61.6%減、実施額は13%減となりました。

年	登録額		実施額		投資国・地域
	額	前年比	額	前年比	
2009	231億 730万米 ドル	61.6%減	100億 米ドル	13%減	米国、ケイマン諸島、サモア諸島、韓国、台湾（日本は投資国・地域のうち第9位）

（出所：ベトナム統計総局の国家経済・社会状況の定期レポート）

2009年のFDIは不動産分野に偏りました。投資プロジェクト別では、米国のTano Capital LLC及びGlobal C&D, Inc.のBai Bien Rongリゾート（41億5千万米ドル）、マレーシアのBerjayaグループのNhon Trach New City（約20億米ドル）などがあります。不動産以外では、宿泊及び飲食に関するサービス業も投資家の関心を多く引き寄せました。

【リーマンショック後のFDI状況】

2010年においては、ベトナムへのFDIは2009年比81.2%となり、世界不況直後としては比較的高い水準との評価を得ています。

年	登録額		実施額		投資国・地域
	額	前年比	額	前年比	
2010	186億 米ドル	18.8% 減	110億 米ドル	10%増	シンガポール、オランダ、日本、韓国、米国
2011年 1月	1億 8,760万 米ドル		4億 2千万 米ドル		シンガポール、韓国、日本、ブルネイ、カナダ

（出所：ベトナム統計総局の国家経済・社会状況の定期レポート）

A. T. Kearney社のFDI信頼感指数（The Foreign Direct Investment Confidence Index）に関するレポートによると、2010年のベトナムへのFDIは前年と同じ順位（第12位）を維持することができました。投資分野別で見ると、第1位は相変わらず不動産（68億米ドル）であるものの、比率は2009年比9%減となりました。

2010年分野別投資額

順位	投資分野	新規 案件数	登録ベースの 投資額 (100万米ドル)	増資 案件数	増資額 (100万 米ドル)	合計 (100万 米ドル)
1	不動産	27	6710.6	6	132.1	6842.7
2	加工・製造業	385	4032.2	199	1048.9	5081.2
3	生産、販売、 電気、水力、 クーラー	6	2942.9	2	9.8	2952.6

(出所：計画投資省、外国投資局)

プロジェクト別で見ると、最大のものはシンガポールの Nam Hoi An リゾートの建設プロジェクト（40億米ドル）、アメリカの AES Corporation 社の Quang Ninh 省における火力発電所の建設プロジェクト（21億米ドル）、日本の Kobelco Vietnam Co., Ltd. のインゴット製造プロジェクト（10億米ドル）、アメリカの Skybridge Dragon Sea の不動産プロジェクト（9億250万米ドル）などがあります。

FDIのあるセクター（石油を含む）の2010年の輸出額は388億米ドル、前年比27.8%増で、全国の輸出額の53.1%を占めています。

【まとめ：ベトナムへの今後のFDI見通し】

ベトナムは、不況を乗り越えて高い成長率を維持し、魅力のある投資先と評価されています。経済学者もベトナムへのFDIは引き続き増加する可能性が高いと予想しており、計画投資省は、2011年のFDI登録額の目標を200億米ドル、実施額の目標を110億米ドル～115億米ドルとしています。ベトナム政府はFDI誘致の重要性を認識しており、この数年間、積極的に投資環境の改善に取り組んでいます。